

4月23日 市民の選択で

「大軍拡ストップ」 平和でも、暮らしでも、希望のもてる政治を

卵がもうじき300円台に？物価が上がって本当に苦しい！

コロナもまだまだ心配。浦安市内に保健所がほしい。

教育費が高くて。外国は授業料無料だっていうじゃない！給食費も無料にしてほしい。

年金は下げられ、介護保険料、後期高齢者医療保険料は高い。特養ホームも入れない。何千万も払わないと入れない民間のホームばかり。老後が不安。

きな臭い世の中になってきて怖い。日本はどこに行こうとしているのか！

市内の小中学校の先生が15人も不足！子どもたちが心配。



政治を変えるのはあなたの一票です

日本の選挙制度の始まりは1889年（明治22）。1919年（大正8）までは資産家の男性だけに選挙権は限られていました。1925年（大正14）に財産による差別はなくなりましたが、女性の選挙権はありませんでした。1945年（昭和20）の法改正でやっと女性に選挙権が与えられ、翌年に男女平等の普通選挙が実施されました。

「全国民に平等の選挙権を」と長い間の運動が実って得られた、国民が政治を選択できる唯一の大切な権利が「選挙権」です。

「どうせ変わらない」と投票に行かないのは、本当にもつたいないことです。選挙権を得るために苦労した先人の思いにこたえるためにも、「政治を変えたい」「切実な要求を実現したい」その願いを、一票に託して下さい。

誰もが生きやすい社会へ新しい政治を実現します



さいとう和子

日本共産党 元衆議院議員

政治資金パーティーの収支をめぐる疑惑で衆議院議員を辞職した藪浦健太郎氏（自民党離党）。岸田政権下で「政治とカネ」問題が続発していることに、国民の不信は高まる一方です。岸田政権では藪浦氏だけでなく①寺田稔前総務大臣が政治資金処理や選挙運動員買収をめぐる多くの疑惑②山際大志郎前経済再生担当相が統一協会問題③葉梨康弘前法相が死刑制度の暴言で辞任しました。もはや政権の体をなしていません。疑惑や癒着の解明に動かず、軍拡に突き進み大増税を国民に押し付ける岸田政権は、今すぐ総辞職すべきです。

「政治を変えたい」「政治が変われば、もっと生きやすい社会が作れる」との思いで私は国政に挑戦してきました。国会議員が変われば、政治は変わります。ご一緒に民意を無視する政治を変えましょう。

大軍拡・大増税NO！ 市民の命・くらし守る浦安市に

岸田政権は大軍拡・大増税に突き進み、私たちの平和とくらしがおびやかされています。

市はコロナ減収を口実に保険料や手数料を引き上げ、補聴器助成や就学支援金の対象者を削ってしまいました。しかしコロナ禍でも市の財政調整基金（自由に使える貯金）は84億円、4年前に比べ、10億円も増えているのです。市民の願い実現の財源はあります。

国の制度以上のことはやろうとせず、国が制度を改悪すれば、国の言いなりに住民に痛みを押しつける浦安市のやり方に対し、私は4期16年、市民の切実な願い実現のために全力を尽くしてきました。市民の皆さんと力を合わせて○コロナ対策○学校給食時無償化への一歩○介護保険料引き上げストップ○パートナーシップ制度等々の施策を実現しました。「市政をチェック！しっかり発言！きちんと報告」をモットーに、心新たに5期目に挑戦します。4期16年の経験生かし、新しい議会でもふたたび働かせてください。

（この部分は上記の段落と重複する内容を含みます）

みせ麻里 日本共産党浦安市議会議員



かんぱい Cheers!



日本共産党浦安南部後援会ニュース 60号
2023年3月発行
発行責任者:堀内勝利
TEL&FAX:354-7815
【部内資料】